

素粒子チタン光触媒REDOX

「光触媒」とは？

光触媒とは、光が当たると光を吸収して反応し、かつ反応前後で変化しない物質のこと。つまり「酸化チタン」を指します。酸化チタンは塗料、化粧品、食べ物や薬品など様々な用途で利用されています。人体に対しても無害で、反応するのは皮膚老化物（垢）だけであることが知られています。

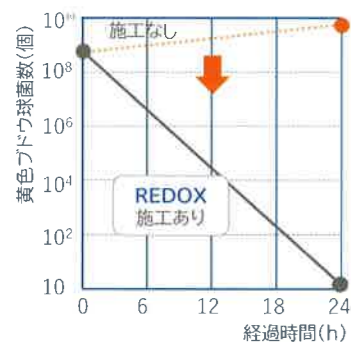
酸化チタンに光が当たると、空気中の酸素を原子状活性酸素に変え、有機物等を酸化分解する光触媒反応を起こします。大量の物質を一気に処理することはできませんが、菌やニオイ分子、カビの孢子、ホルムアルデヒドなどの目に見えないリスク対し、「光」だけで持続的に「分解」作用を発揮できるという大きな利点があります。



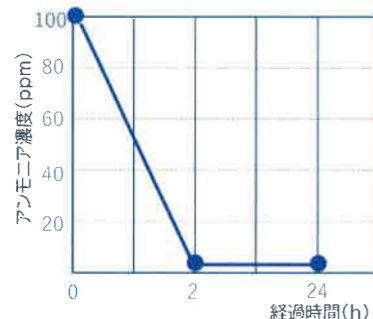
REDOXは無色透明。生体にも安全です。

「素粒子チタン光触媒REDOX」の試験データ

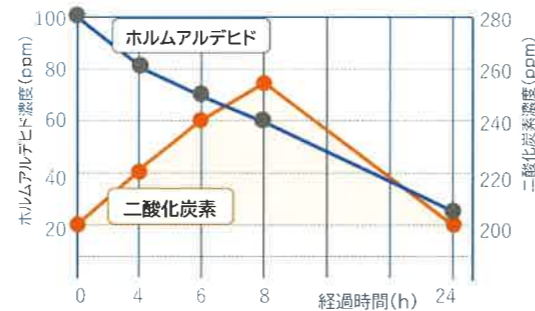
黄色ブドウ球菌
抗菌99%



アンモニア
消臭99%



ホルムアルデヒドを
無害なCO2と水に分解！



A BETTER LIFE
REDOX

素粒子チタン光触媒 レドックス

Rummy Corporation

株式会社RUMMY

和歌山生石高原麓さみの工房
メール: info@rummy.co.jp

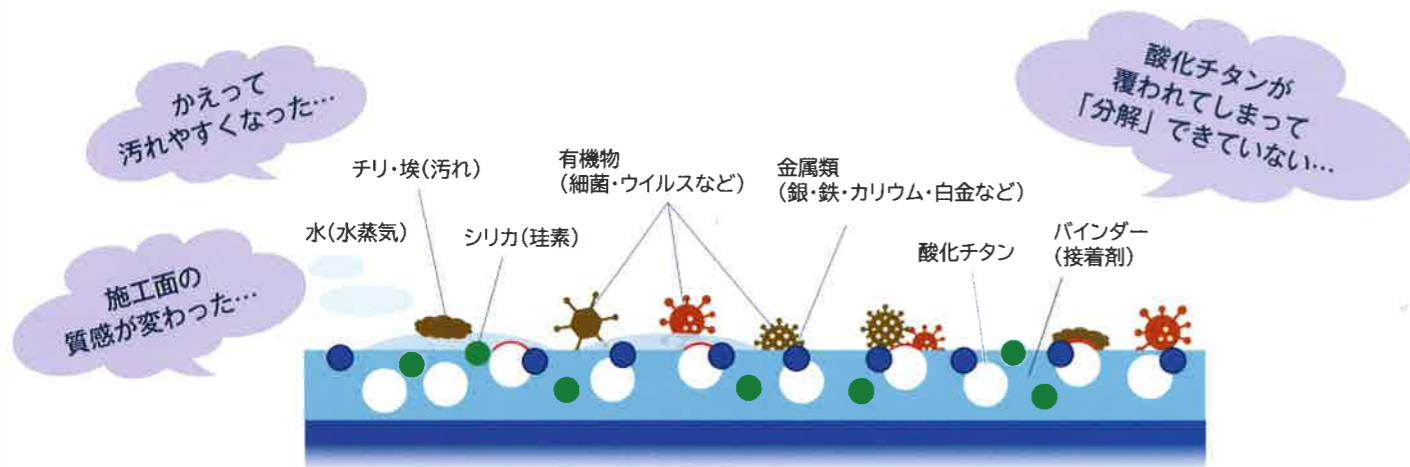
詳しい情報・お問い合わせはこちら。

右のQRコードよりホームページにアクセスできます。
<https://rummy.co.jp/>



「菌・汚れ・ニオイ」を「吸着」したいですか？ いえいえ、「寄せ付けにくい」かつ「分解」が理想なはず。

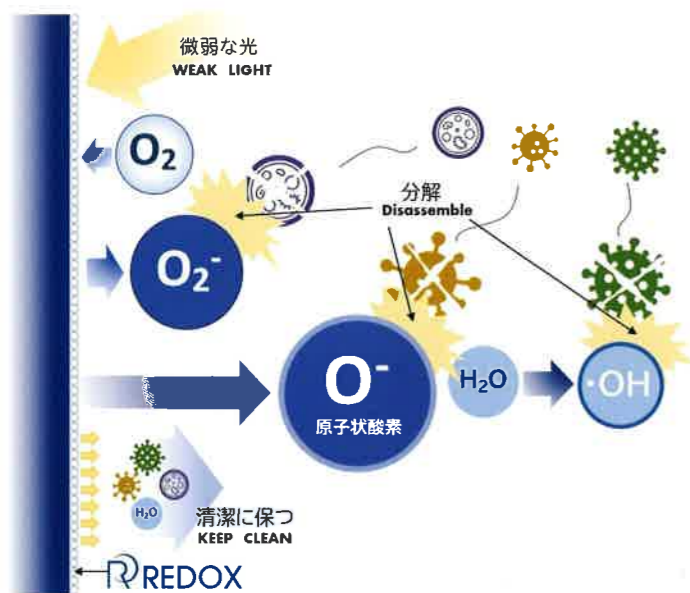
でも、一般的な光触媒だと・・・



光触媒製品は酸化チタンの粒子が大きく、金属類（銀・鉄・アルミ・カリウム・白金など）やシリカなどの混ぜ物を含んでいることが一般的で、施工面の美観や質感を損ないやすいというリスクがあります。そして意外と知られていないのが、金属類やシリカは菌・汚れ・ニオイなどを「吸着」しても「分解」作用が持続しないということ。酸化チタンは空気と接してはじめて光触媒機能を発揮するため、「吸着」された物質で表面が覆われると、菌・ニオイ・汚れなどを「分解」できなくなってしまいます。

REDOXは酸化チタンの粒子が存在しない「素粒子チタン」
+ 「混ぜ物を一切含まない」超シンプルな成分。
だから

施工面の美観や質感はそのままに、
「寄せ付けにくく」かつ「分解」する光触媒機能を効率的・持続的に発揮！



REDOXの原理と反応。

水中から解放された素粒子チタンは、
施工面に量子結合（最小単位で結合）します。

光が当たると・・・

光電効果で帯電（静電）防止作用を発揮。
酸化チタン自体の疎水性とともに、
汚れなどを「寄せ付けにくい」状態にします。

空気中の酸素を吸着して原子状活性酸素を発生。
接触あるいは浮遊する有機物等を「分解」します。

見えなきものを感じとる



REDOXなら安心・快適を「幅広く」サポート。
「目に見えない」「対応しづらい」リスクを着実に減らします。

あらゆる場所に適応。

- 壁、天井、床、窓、扉、クローゼット
- 水回り（キッチン・浴室・トイレ）
- 家電（冷蔵庫・レンジ・エアコン・液晶画面）
- 家具（テーブル・椅子・ソファ・ベッド）
- ソーラーパネル、車
- など



お客様の声。

引っ越ししてすぐ、室内すべてにREDOXを施工しました。ある日、コーヒーマーカーのポットを付け忘れてしまい、カウンターの下にコーヒーが溢れて壁が汚れてしまいました。慌てて拭きましたが跡が残って落ちませんでした。しかし3ヶ月くらいして見てみると薄くなっており、忘れた頃にはもう消えていて、今はもうどこに溢したのか分からなくなっています。びっくりしました。REDOXを施工しておいて本当に良かったです。

中古の店舗を改装して新しいお店にしようとしていたのですがタバコのニオイに困っており、REDOXを施工しました。その時はちょっとマシになったかなと思う程度でしたが、だんだんと気にならなくなり、いつの間にかタバコのニオイがなくなっていました。



家族がダニやハウスダストのアレルギーに困っていて、半信半疑でREDOXを施工してみました。朝起きたときに体が痒くなったり赤くなっているということがなくなり、良かったなと思っていました。数年後くらいに、施工してから風邪をひくことが減ったことに気づきました。それまでは必ず、年に一回は誰かが寝込んでいたのですが。